

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	インターンシップ	
科目基礎情報							
科目番号		0128		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		商船学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		インターンシップ先企業の指示に従うこと。					
担当教員		鈴木 治,窪田 祥朗					
到達目標							
研修先での就労体験を通じて、実践的知識・技能を習得し、また実社会の現状を把握する。 実習の評価は、実習状況、実習態度、報告書の結果を総合して行い、合格・不合格の評価とする。							
ループリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		研修先での就労体験を通じて、実践的知識・技能を習得し、また実社会の現状を把握し発表できる。		研修先での就労体験を通じて、実践的知識・技能を習得し、また実社会の現状を把握し説明できる。		研修先での就労体験を通じて、実践的知識・技能を習得し、また実社会の現状を把握し説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		企業等での実習（就業体験）を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた職業観の要請を目的とする。ガイダンスの後に、提出書類を作成する。実習先が決定後は企業調査等を行い、実習先企業の理解を深め、学業の意義を確認して学生としての学習意欲を向上させるとともに、将来の進路とのつながりにおいて学業を推進させること。					
授業の進め方・方法		事前研修として、インターンシップの意義と目的を説明し、学生の理解を深める。また、企業調査を行うことで、研修先の業務内容や研修内容について学ぶ。 企業での就業体験実習では、各テーマに沿って実習を行う。 事前研修及び事後研修を行い、レポートの作成等を行う。					
注意点		・企業では、社会人としてのマナーが厳しく問われることに注意すること。 ・無断欠席・遅刻・総体は論外である。自覚して参加すること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	企業での実習1		各テーマに沿った実習を行う。		
		2週	企業での実習2		各テーマに沿った実習を行う。		
		3週	企業での実習3		各テーマに沿った実習を行う。		
		4週	企業での実習4		各テーマに沿った実習を行う。		
		5週	企業での実習5		各テーマに沿った実習を行う。		
		6週	企業での実習6		各テーマに沿った実習を行う。		
		7週	企業での実習7		各テーマに沿った実習を行う。		
		8週	企業での実習8		各テーマに沿った実習を行う。		
	2ndQ	9週	企業での実習9		各テーマに沿った実習を行う。		
		10週	企業での実習10		各テーマに沿った実習を行う。		
		11週	企業での実習11		各テーマに沿った実習を行う。		
		12週	企業での実習12		各テーマに沿った実習を行う。		
		13週	企業での実習13		各テーマに沿った実習を行う。		
		14週	レポート作成		インターンシップのレポートを作成する。		
		15週	レポート修正、提出		レポートの修正を行い、提出する。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	実習状況	実習態度	報告書	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0